

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 4116  
21年1月5日(火)  
Tel・Fax 095-828-1953

おはようございます。

# 今年も元旦機関紙配りから 元気に支部活動スタート

2021年がスタートしました。2020年は新型コロナウイルスに翻弄された1年だったといえます。

4月に緊急事態宣言が出されてからは国民の生活は一変し、旅行や買い物、外食など今まで普通でできたことができなくなりました。

春、夏の甲子園、インターハイも中止となり東京オリンピックも延期となりました。長崎でも長崎くんちが中止となり、今年のランタンフェスティバルも中止が決定しています。

三密（密閉、密集、密接）やソーシャルディスタンス、クラスターなど当初は聞きなれない言葉でしたが、2020年の流行語大賞にノミネート

されるなど、今では身近な言葉になりました。「三密は」2020年の年間流行語大賞に選ばれ、2020年の漢字一文字も「密」でした。人が集まることを「密になる」と誰でも会話などで使っているほどのです。



新型コロナウイルスは郵政ユニオンの活動にも大きく影響を及ぼしました。春闘時に毎年開催される本社前集会は中止となり、本部定期大会と九州地本定期大会は延期となりました。

支部の活動も例外ではありませんでした。ピースサイクル長崎ルートは実走を中止し、組合結成30周年&未来4000号達成記念祝賀会は延期となりました。夏に開催しているビアガーデンや忘年会も中止となりました。辛うじて支部定期大会は感染予防を行い、来

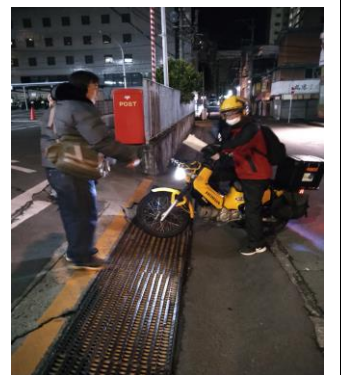
賓なしの組合員のみで開催しました。

只、暗い話題だけではありませんでした。10月15日の東西労契法20条裁判の最高裁判決では6つの休暇や手当（住居手当、扶養手当、夏期冬期休暇、年末年始手当、1月2、3日の祝日給、有給の病気休暇）が認められました。この判決を基本に支部組合員4名が原告となつている郵政ユニオン集団訴訟長崎訴訟も早期の解決に向けて協議を重ねています。



新型コロナウイルスの終息は専門家さえはつきりした答えは出せていません。もうしばらくはコロナと共存して生活しなければなりません。

支部の活動は今年も制限されそうですが、機関紙「未来」は週2回欠かさずことなく発行していきますのでよろしくお願いたします。



## 元旦ピラマキ

今年も、1月1日元旦、午前6時15分からの門前機関紙配りで、2021年の支部の活動がスタートしました。

例年同様、日の出前はまだ暗い中、管理者による元旦出発式の準備を横目にしながらの機関紙配りとなりました。20分ほどで機関紙70枚を配布することができました。その後、勤務の組合員と共に、通用口前で簡単な集会を行い解散となりました。



2021年郵政ユニオン長崎中郵支部旗開き中止のお知らせ

支部は、1月9日に予定していた「支部旗開き」を中止とすることにしました。

12月上旬までは長崎では、新型コロナウイルス感染も比較的落ち着いていたため、例年通り開催の方向で準備をすすめてきました。



支部の年賀はがきでも開催のお知らせを掲載していましたが、この1カ月で状況は一変しました。支部旗開きの中止は残念ですが、クラスターなど最悪の事態も考え苦渋の決断となりました。紙面を借りてのお知らせとなりますが、よろしくお願いたします。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員が正社員化を。

めげず、均等待遇を。なぐさみ差別！

ユニオンは労契法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。